

ファイナルレポート

国際ラボテクノロジー・分析機器・バイオテクノロジー・診断技術専門見本市
2022年9月15日～17日
インド・ハイデラバード / ハイテックスエキシビションセンター

2022年10月4日

史上最大規模の見本市: Analytica Anacon India、India Lab Expo、Pharma Pro & Pack Expo 大盛況のうちに終了

Summary

- analytica Anacon India、India Lab Expo、Pharma Pro & Pack Expo 2022 は、2022年9月17日、成功裏に終了
- 316社が出展し、17,500平方メートルの展示スペースに約5000点の製品を展示
- 前回の2019年開催比にて、展示スペースは35%増、来場者数は25%増

Facts & Data

会 期	2022年9月15日(木)～17日(土) 午前9時～午後5時
会 場	インド・ハイデラバード / ハイテックスエキシビションセンター
主 催	・Messe Muenchen India Pvt Ltd ・Messe Muenchen GmbH
規 模	17,500m ²
出 展 企 業	316社(2021年:115社)
来 場 者 総 数	16,039人(2021年:5,455人)
専 門 分 野	ラボ技術、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、光学、研究&リサーチ
主 な 出 展 品	分析技術・機器:分析機器、クロマトグラフィー、分光測定機器、顕微鏡検査、光学画像処理 検査・測定・品質管理:産業品質管理、材質試験、材質評価、薬品産業品質管理 ラボテクノロジー:ラボ用機器・技術・設備、ラボ用データシステム、化学製品・試薬・消耗品 ライフサイエンス・診断:バイオアナリシス、バイオケミカル、バイオインフォマティクス、ライフサイエンス関連ラボ・バイオテクノロジー
専 用 U R L	www.analyticaindia.com (英語)

2022年9月15日から17日までの3日間、ハイデラバードの HITEX で開催されたこれらの見本市は、エコシステムに関する知見や技術、市場機会を橋渡しする有用な場であることが証明された。それは、医薬品・ヘルスケア、研究所、契約研究所、診断研究所、化学処理、石油・石油化学、ライフサイエンス、バイオテクノロジー、水と廃棄物の管理、食品、飲料など、非常に幅広い産業領域からの来場であったことから明確である。

Messe Muenchen India が主催する Analytica Anacon India、India Lab Expo、Pharma Pro & Pack の見本市には、316社が17,500平方メートルの展示スペースに5,000点の製品を展示した。最新技術の展示に加えて、各見本市では、知見の深いカンファレンスや人気のある Buyer-Seller フォーラムも開催された。カンファレンスでは、分析機器の規制動向、インドの製薬産業の成長を加速する AI（人工知能）と ML（機械学習）、そして製薬産業 2030 年の展望というテーマに焦点が当てられた。

「テクノロジーとオートメーションの将来的シナリオ」をテーマにした円卓会議が開催され、製薬領域と機械領域のそれぞれを代表する業界のエキスパートが参加した。まず、このテーマに関する全国調査の結果が共有された。続いて、長期的なメリットを挙げて、今後の道筋について検討され、提案がまとめられた。そして、IPMMA(インド製薬機械製造業者協会)は、デジタル化と自動化に関する見解書を作成し、インド政府に提出してデジタルインドという目標に対して支援する考えを明らかにした。

Anish Pharma 社のシニアゼネラルマネージャー Devendra Vasant Chaudhary 氏は、「この見本市は大変励みになった。多くの上級チームメンバーや主要関連企業的意思決定者に会うことができ、非常に有意義であった。彼らは私たちのブースに来て、製品に関する貴重な意見を提供してくれ、本当に素晴らしい経験ができた」と話した。

Craftsman Automation 社のディレクター Ravi Gautam Ram 氏は、「当社のストレージシステムは好評であった。特に、今回初めて展示した製薬会社向けのストレージシステムも良い評価が得られた。多くの人から高い関心が寄せられ、質の高い訪問者が多数あったことから、ホットな問い合わせにつながることを楽しみにしている」と話した。

Aurobindo Pharma 社のディレクター Madan Mohan Reddy 氏は、「India Lab Expo、analytica Anacon India、Pharma Pro & Pack に、出展者と来場者がこれほど大勢集まったことは素晴らしいことだ。ここは、買い手と売り手が一堂に会し、有意義な対話を通してビジネス交流ができるという優れたプラットフォームだ。ほかの同様の見本市と比較して、ここでの出展者の質と規模は段違いに優れている。ほぼ3年振りに業界関係者と直接会えたのは大変喜ばしいことであり、さらには、これほどまでに膨大な数の革新的機械が展示されている光景に感動すら覚えた。質の高い出展者と来場者を呼び寄せ、今年の見本市を成功に導いたエキシビジョンチームの努力に敬意を表する」と語った。

Pharma Pro & Pack Expo の成功について、インド製薬機械製造業者協会(IPMMA) 会長の Harshit Shah 氏は、「業界が3年振りにここに集結したことを考え合わせると、今年の見本市は本当に大成功であった。誰もが皆、対面でのミーティングや会話に盛り上がっていた。初出展者も多く、会場には膨大な製品ポートフォリオが展開していた。トップ意思決定者やテクノロジーバイヤーを含む多くの来場者を迎えた。それゆえに、この3日間は全ての参加者にとって有意義で生産的なものであった」と話した。

インド分析機器協会会長の Gautam Rajan 氏は、「我々は来場者の質に満足しており、ここでの会話の多くが実際のビジネスチャンスにつながると確信している。来場者は、見本市の設計、オンサイトのイベントやアクティビティ、幅広いテクノロジーと製品ソリューションなど、各々の質の高さに満足している。いつものとおり、買い手と売り手のフォーラムは、今回の見本市でも最大の魅力であった」と述べた。

メッセ・ミュンヘン・インディア CEO の Bhupinder Singh は、今回の規模、質、効果について、「パンデミック期間中の3年間の中断を経て、製薬機械業界に見本市の場の提供ができたことをうれしく思う。出展者と来場者の両者から、確かな興奮と期待が伝わってきた。規制シナリオや AI / ML などのタイムリーなトピックに関する会議やリーダーシップコンクラーベは、多くの聴衆を魅了した。今回の三つ併催見本市の規模と成功は、全ての顧客とバイヤーと業界コミュニティの有意義な関係づくりにつながり、ビジネスチャンスを大きく広げるという当社の約束を改めて裏付けるものとなっている」と締めくくった。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.analyticaindia.com まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)